

2025
10月17日
金曜日

建設新聞

発行所 建設新聞社
本社 青森支局 岩手支局 秋田支局 山形支局 福島支局 東京支局
仙台市青葉区春日町7-5 TEL022(221)4601
青森市古川1丁目21-11 TEL017(722)8631
盛岡市菜園1丁目3-6 TEL019(651)8045
秋田市山王4丁目3-10 TEL018(862)6921
山形市松波1丁目10-16 TEL023(641)2800
福島市宮下町17-20 TEL024(534)0138
東京都江東区豊洲1-3-1 TEL03(5547)1367



東北工大建築学部

125社参加し交流会

学生が先輩から助言

東北工業大学建築学部は14日、「東北を支える建設関連企業と建築学科の交流会」を仙台市の仙台国際センターで開いた（写真）。ゼネコンや住宅設備、設計事務所など建設関連企業125社が一堂に集まり、学

生に向けて仕事の内容や在籍するOB・OGの活躍を紹介した。就職活動控える3年生を中心とした約170人の学生が、卒業後の進路を考える機会として先輩の声に熱心に耳を傾けた。この交流会は、東北工大卒業生の在籍企業と学生が直接対話して働く状況を知り、社会人として活躍していくためのビジョンを醸成するために実施している。2016年に建築学科創設50周年を迎え、記念事業の一環として卒業生の就職先



を中心とした企業紹介などで構成する「東北を支える建設関連企業図鑑」（建設新聞社刊）を発刊。交流会は、企業図鑑作成をきっかけに開始し、掲載企業と大学のつながりを深める目的もある。例年12月に開催していたが、就職活動の早期化に対応し、ことは10月に前倒しした。開会に当たり、石井敏学部長は「就職の話題にとどまらず、大学での学び、仕事のことなどさまざまな相談をしてほしい。皆さんのために多くの企業が集まってくれたこの貴重な機会が、進路検討につながることを期待している」とあいさつした。

会は2部構成で、第1部は約2時間の自由交流時間を設け、学生が企業の担当者と自由に交流し、情報収集した。第2部では、業種別に編成した9のブースで各企業が会社の特徴や仕事内容、福利厚生、在籍している卒業生の活躍などを詳しく説明。学生らは第一線で活躍する先輩と仕事の詳細な内容や福利厚生面などを忌憚なく意見交換した。企業担当者らは後輩たちへ「建設業はさまざまな業種が協力し合い、形に残るものをつくっている」「女性の活躍が増えており、皆さんが入社するところにはさらに増加するはずだ」などとアドバイスしていた。